

-----1月11日-----

## 今週のアウトルック(1/11～1/15)

後だしジャンケンのように申し訳ないですが、先週金曜日に発表された米国雇用統計は、予想よりも悪い数値が発表されるのではないかと考えていました。

案の定、予想よりも悪い数字が発表されるサプライズとなったのですが、反応の方は考えていた反応と少し違う結果となりました。一時的にはドル安円高が進んだものの、弱気転換への急落という感じではなく、買い戻しも強い感じです。NYダウに至っては何事もなかったかのように買い戻されてしまった、という解釈の方が正しいかもしれません。

「雇用関係の数値が改善されなければ、利上げは当分なし」という逆解釈で、プラス要因にも捕らえられてしまうところがこの数カ月の相場の怖いところです。

雇用関係のサプライズでもトレンドが変わらな買ったことからすれば、上昇バイアスがかかったレンジ相場は、まだしばらく続くのかもしれない。

今週のドル円は、週前半に90円を目指すような動き、あるいは利益確定による円高の動きがそれほど強くならなければ、NYダウのサプライズ的な動きがない限り、上昇トレンドを継続して、95円あたりを目指す動きになる可能性が高いように思います。予想レンジは91円から95円です。

ユーロ円は先週末で一つのポイントに差し掛かっているように思います。このところ135円あたりに押し戻されてしまうケースが多かったのですが、今週初めに135円超えを再びトライするのか、それとも押し戻されてしまうのかによって、その後の展開が大きく変わってきそうです。135円で押し戻されてしまえば、再び129円あたりを目指すレンジ相場、135円を超えられれば、上昇トレンドへ転換する可能性が高いように思います。

ユーロドルが1.45付近で停滞する可能性を考えますと、可能性的には押し戻されてしまう可能性が少し高いかなと見ています。

予想レンジは131円から136円です。

ポンド円も150円を超えられるかが、一つの分岐点になりそうです。こちら150円を超えてポンド高が進むには、NYダウの大きな後押しでもない限り、少し材料不足かなという気がします。予想レンジは144円から151円です。

全体としては、NYダウの動きに大きく左右される傾向はまだまだ続きそうです。雇用統計を消化したことでさらなる上昇があるのか、それともそろそろということもあろうのか、決め打ちという事だけは避けた方がよさそうです。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。